

—こちらのコーナーでは、千代田区の地名や旧町名、名所、坂、橋などを紹介していきます。過去から現代へとつながる地域の歴史と記憶をめぐる小旅行へと出かけましょう。

江戸の町に多いものを表す言葉として「伊勢屋稲荷に犬の糞」というものがありました。今年度、九段生涯学習館の講座で稲荷をとりあげましたが、千代田区をはじめ江戸府内には町の鎮守や武家屋敷の屋敷神として祀られた多くの稲荷社が今もあります。その中でも、他とは一線を画す由来を持つものに、神田三崎町2-9-12に鎮座する三崎稲荷神社があります。

三崎稲荷神社は建久年間(1190-1198)以前に武蔵国豊島郡三崎村の総鎮守として、現在の本郷一丁目付近に創建されたと伝えられます。その後、城下町造成や外堀整備などにより度々移転し、江戸時代には水道橋の南西側に社殿を構えていました。明治38年(1905)、甲武鉄道(現在のJR中央線)敷設により現在地に移転。後北条氏や徳川将軍家からも保護され、特に三代将軍家光からの崇敬が篤かったそうです。主な年中行事としては2月の初午と11月の「おひたき」の神事があり、初午には抱瘡(天然痘のこと)の神薬「神応湯」を出し、「おひたき」では鎮火祭のお守りを出していました。参勤交代で江戸と国元を行き来する大名は当社に参拝をして道中の無事を祈願したといいます。また、立地から江戸城外堀堤防の守護神としての役割も果たしていました。稲荷社は本来稲作や農業の神ですが、江戸時代以降、神社ごとに様々な霊験・ご利益が付加され、三崎稲荷神社もその例にもれず、人々の願いに合わせて霊験・ご利益を取り込んでいった様子うかがえます。現在では学校や商店街に近いこともあり、学業成就や商売繁盛を祈願する人が多く集まるなど、今もなお人々に親しまれる神社として地域に根付いています。



三崎稲荷社(『江戸名所図会』国立国会図書館所蔵より)

シリーズ

千代田の学び人にあいたい vol.8

本郷 寛和さん [一般社団法人 千代田区観光協会]



前号の「学び人」で子ども向けの活動をしている千代田区立麹町小学校ワーク・わく・クラブの谷真理子さん(左)からご紹介いただき、今回は、一般社団法人千代田区観光協会の本郷寛和さん(右)にお話を伺いました。



谷さんから本郷さんへのご質問「今後の子ども達に向けた取り組みの展望をお聞かせください」

観光協会の主な活動は、観光イベントの主催と情報発信です。その他、地域団体の支援や観光ボランティアの育成も行っています。特に活動のターゲットは絞らず、さまざまな方に関わっていただきたいと思います。例えば「東京大回廊写真コンテスト」という千代田区ならではの魅力を発見していただく事業では、ジュニア賞もあります。観光においては、普段そこにいる子どもや区民が「この町って素敵だな」と誇りを持ってもらうことが大切だと考えています。その町に住む人たちの誇りは外から来る人にも伝わり、町の魅力に繋がります。

観光協会としては、子どもも含めて地域のみなさと繋がりながら千代田の魅力を伝えていきたいと思っています。私自身、自分が地域のみなさと繋がることで、どなたか一人でも元気になり、笑顔にできたらという想いで務めています。観光協会で働きかけとなったのは、学生時代、千代田区の商店街のお祭りを手伝うなど、町づくりに携わった経験でした。地域のみなさに温かい支援をいただき、育てていただきました。そんな地域の方に恩返しをしたいという気持ちが強く、大好きな千代田区で仕事をしたいと思いました。実際に観光協会働いてから、より千代田区の魅力を知りました。皇居を中心に自然が豊かなところ、個性豊かな街並みがひしめきあっているところ、地域のみなさまのお人柄などが見えてきて、ますます好きになりました。来年は、オリンピックで世界各国の方が日本に来ます。初めて訪れる場所は、地元の方が日本の第一印象となります。みなさまと一緒に、魅力あふれる千代田区で世界の人々をお迎えしたいと思っています。

Interview Relay

DanDan 第20号

令和元年7月3日発行

発行

千代田区立九段生涯学習館
株式会社小学館集英社プロダクション

DanDan編集室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-10
TEL 03-3234-2841 FAX 03-3262-7460

280

／ 九段から発信する生涯学習コミュニティペーパー ／

volume

20

TAKE FREE

DanDan

ありがとう、ゆっくり、まあるく かかわっていく

／ 交流しよう! 挑戦しよう! ／

今年度のDanDanのテーマは「交流しよう!」「挑戦しよう!」。生涯学習を通して人と交わり様々なことに挑戦していきたいと思います。今号は参加者をつくるイベントに挑戦!

九段フェス

2019

さくらで結ぶ

九段フェスは区内生涯学習交流事業という「交流」を目的とした事業です。2019年は、九段生涯学習館を日ごろご利用いただいているサークルの皆様から参加を募り、舞台発表・体験教室を行いました。また、九段フェスを更に盛り上げるべく、当館の講座にご登壇いただいた講師の方々によるパフォーマンスやミニ講習会も開催しました。

もくじ

- ①特集 | 九段フェス2019～さくらで結ぶ～
- ②時と土地をめぐる ちよだ旅情 | 三崎稲荷神社
- ③シリーズ | 千代田の学び人にあいたい



編集後記 ▶▶▶ DanDan編集室 平田

はじめて開催した九段フェスですが、サークルの皆様をはじめ多くの方にご参加いただき、とても楽しいイベントになりました。学びを軸に人々が出会い、新しい発見につながる場として続けていきたいです。



千代田区立

九段生涯学習館

こころを育み 明日へつなぐ

サークルによる 舞台発表・体験教室

九段生涯学習館で普段活動するサークルが、舞台発表と体験教室に分かれてイベントを開催。さまざまなジャンルのサークルに集まっていただきました。

舞台発表

劇団秋田犬(朗読)／健康クラブ(太極拳)／東風アンサンブル(合唱)／千代田区武術太極拳同好会(太極拳)／創作民話を語り継ぐ会(朗読)／九段ハーモニカクラブ(楽器演奏)／カンツォーネサークルいっち(合唱)／デュッセルドルフ千代田男声合唱団(合唱)／腹式呼吸クラブ(朗読)／フラ・ボーマイカイ(フラダンス)／千代田明るい社会づくりの会(楽器演奏・舞踊)

体験教室

千代田スコティッシュカントリーダンスアカデミー(ダンス)／日本舞踊・鏡会(日本舞踊)／東京あいか庵(茶道)／朗読の会さくら(朗読)／わをん(コーラス)

日ごろのサークル活動では、共通の趣味をもつ仲間が集い、九段生涯学習館をご利用いただいています。今回の九段フェスでは、共通の趣味をもつ仲間だけでなく、サークル同士の繋がりや交流を深めることで、さらに九段生涯学習館へ来ることが楽しくなると嬉しいです。

＼Voice／

今回のイベントを通じて、高齢の方々が元気で生き生きとしている様を垣間見ることができました。元気なうちは色々な活動を通じて自己実現をはかる事の重要性を痛感しました。(参加サークルより)

実行委員会

当日に向けて、参加サークルによる実行委員会を発足し、11月から全3回実行委員会を行い、繋がりを深めながら準備を進めました。実行委員会形式での運営、館を挙げての一大イベントは今回初めてでしたが、サークルの皆様を支えられ、九段フェスを盛り上げていただきました。

▼有志の装飾づくり、当日の受付当番も担当しました



当日は、皆様とても輝いていて、笑顔とさくらで九段を彩ってくださいました。(九段生涯学習館・太田)



スペシャルプログラム

過去に実施した生涯学習講座から、講師の方々が特別イベントを実施しました。

獅子舞

子どもの獅子舞を引き連れた東京讃岐獅子舞が、ロビーとギャラリーで演舞を実演。太鼓と鉦を打ち鳴らし、楽しいリズムに来場者を巻き込みました。

講座：平成30年度人材バンク活用講座《讃岐獅子舞、やってみよ。》
講師：東京讃岐獅子舞



奇術

西洋奇術と日本の奇術をそれぞれ実演。華やかな西洋奇術と、繊細で優美な日本の奇術・和妻が共演し、会場を盛り上げました。

講座：平成30年度教養講座《「手の速さ、稲妻の如し」日本奇術「和妻」の魅力にせまる》
講師：北海翼(和妻師) Tokyo・Tomo(マジシャン)



ミニ講習会「春にちなんだ寄生虫」

桜にかかわりのある寄生虫を標本とレクチャーで紹介。不思議な形の寄生虫の標本と動画に、大人も子どもも釘付けでした。

講座：平成29年度ジュニアカレッジ《意外と身近な寄生虫～魚の中をのぞいて探してみよう～》
講師：脇司(公益財団法人目黒寄生虫館研究員)

ミニ講習会「桜と昆虫たち」

桜にちなんだ昆虫を、標本とレクチャーで紹介。普段見かけない昆虫も、身近に感じられるレクチャーをしていただきました。

講座：平成30年度ジュニアカレッジ《夏の都会でセミの観察～神秘的な羽化を見つけにいこう!～》
講師：木村義志(日本昆虫協会理事)